東京は〝ご免だ〟

今春の修学旅行異変

入込み大幅ダウン

反安保運動に 巻きぞえ懸念か

東京都への修学旅行は今季になって急激に減少した。これは万国博見学の影響のほか〝安保〟も加わったためで、とくに六月期はガタ落ちとなった。昨年、学園紛争で修学旅行旅館街のある文京区内は大混乱を呈し、交通渋滞や規制のためバスが旅館に到着できず、なかには夜九時すぎになってようやくたどりついたという事態も起きたほど。これにこりた学校側は、ことし六月に予測される反安保運動の巻きぞえをおそれて計画を変更、都内を避けて関東周辺に分散した。そのため江の島、鎌倉方面への入込みが激増しており、思わぬところで修学旅行地図が塗りかえられた—。

最高は富士五湖へ

近畿日本ツーリストの東京手配センター（高荻一弥所長）の調べによると、今季東京への入込みの修学旅行のうち学校数、児童生徒数とも前年度を上回わったのはわずかに三月の人員が九%、四月の学校数六%、人員二%の増だけであとは総くずれ。三月から六月までの集計では学校数で八%、人員で六%も減少している。とくに〝安保〟の六月は学校数で二七%人員では八%も減っていることがわかった。

東京の減少に対して逆に昨年より増加したのは富士五湖方面で、三月は学校数八六%、人員一一一%、四月学校数七二%、人員四七%、五月学校数一五%、人員二七%、六月学校数六二%、人員二三%のいずれも増で、四か月の平均では学校数四一%、人員三五%の増加ぶり。

富士五湖につぐのは日光地区で四月が学校数で二八%、人員二四%、五月は学校数六二%、人員一〇%の増で、六月は少し減少しているが平均では学校数が三三%も増えている。

江の島・鎌倉地区の六月は学校数で六七%、人員では三九%という激増で最高となり、東京の敬遠組はこの方面へ流れたことがわかった。

ところでこのあおりを受けたのは東大付近に密集する文京地区五十軒の団体旅館。好成績の旅館でさえ六月は平年の三割減、なかには半数を割ったところもあるという。いつもなら最盛期なのに、ことしは閑古鳥が鳴いている。

文京・本郷の武蔵野旅館古目谷支配人の話　ことしの修学旅行は例年にくらべて入込みが悪く、うちの場合もとくに六月が三割がた落ちている。ほかの業者も同じだろう。万博の影響というより、どうやら〝安保〟がからんでいるとみてよいだろう。

旅館案内図も心なしかわびしい（東京・本郷4丁目角で）

見学と宿泊の二本立て

新基準決る

北海道教委

北海道教委では道高校修学旅行改善協議会（吉村忠幸会長）と同中等教育振興協議会（角井只政会長）の答申に基づく新しい修学旅行の基準を決め、来年から実施する。公立学校の修学旅行を〝見学旅行〟と〝宿泊旅行〟に分け小学校ではどちらかに比重を持たせて両方を加味、高校では両方とも実施する。

小学格では都会地などで生活経験ゆたかなところが〝宿泊〟、生活経験の乏しい学校は〝見学〟が望ましいとしている。中学校は地域の実情によりどちらかに重点をおいて実施、高校は〝見学〟と〝宿泊〟をそれぞれ一回ずつ行なう。

日数は小学校が車中泊なしの一泊二日以内、中学校は同じく三泊四日以内、高校は〝宿泊〟が二泊三日以内、〝見学〟は五泊六日以内。旅行範囲は中学校では特例を認めてはいるが〝道内に限り〟を原則としている。

経費は小学校が千五百円（従来二千円）中学校は三千五百円（従来五千円）高校八千五百円（従来一万五千円）で鉄道、バス代を除いたもの。道教委では費用の低減によって父兄の負担を軽くし、全員参加を目標としている。

本年度新役員決る

関東修学旅行委員会で

関東地区中学校修学旅行委員会では五月二十九日午後、千代田区の近鉄大飯店で本年度初の委員会を開いた。経過報告、本年度の役員改選を行なったあと、退任役員に記念品がおくられた。新役員次の通り（敬称略）

会長＝渋谷宣二（埼玉県中学校長会長・浦和市立常盤中学校長）

副会長＝川崎和美（千葉県中学校長会長・茂原市立富士見中学校長）志賀恒治（茨城県中学校長会長・水戸市立第一中学校長）石川金太郎（群馬県中学校長会長・前橋市立第一中学校長）

渋谷宣二会長

運営委員長＝塚田武男（宇都宮市立陽西中学校長・栃木県中学校長会修学旅行部長）

同副委員長＝高田福松（埼玉県幸手中学校長・埼玉県中学校修学旅行委員会委員長）

運営委員＝高橋武司（千葉県柏市立柏中学校長・千葉県中学校修学旅行委員会委員長）中山将喜（水戸市立第五中学校長・茨城県中学校修学旅行委員会委員長）村沢敏男（群馬県沼田市立池田中学校長・群馬県中学校修学旅行委員会委員長）白滝末紀（全修協事務局長）事務局長＝高橋儀六（全修協調査役）事務主幹＝山本実（全修協事務局次長）

超党派で発足

飛鳥を守る議員連盟

飛鳥古京を守る議員連盟（会長橋本運輸相、議員数百十三名）がこのほど発足した。連盟は飛鳥文化の栄えた奈良県高市郡明日香村を中心とする地域を、近代化の波から守ろうという趣旨からつくられたもので①飛鳥古京保護法（仮称）を超党派の議員提案で成立させ、飛鳥文化保存財団を設置する②四十五年度予算で土地買収のため起債一、二億円を大蔵省に認めてもらう③四十六年度予算から本格的な財政援助を実現することなどを目標に活動する。

脚光をあびる新修学旅行地

伊勢志摩を中心に

近鉄特急で多彩なコース

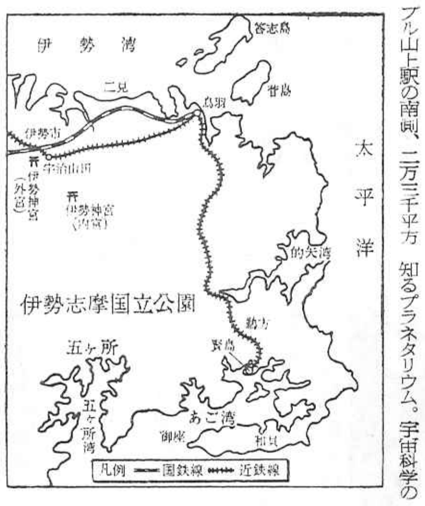
マンネリ化した修学旅行コースから脱皮しようと各学校では真剣な検討を加えているが、新しい目的地として、伊勢志摩国立公園が脚光を浴びはじめた。これは近鉄の賢島までの直通に伴なう特急電車の運転によって鈴鹿国定公園と伊勢志摩国立公園、金剛生駒国定公園を結んで、さらに飛鳥、奈良、京都までのコースが組めることになったためで、近い将来、新しい修学旅行地として登場するだろう。

近鉄が去る四十三年五月から着手していた鳥羽線（宇治山田—鳥羽）の新設と、志摩線（鳥羽—賢島）の改良工事が完成、今春から名古屋、京都、奈良、大阪（上本町）と賢島が直結され、特急電車の運転を開始した。そのため終点にあたる賢島に近鉄伊勢志摩開発会社が約五億円を投じて志摩マリン・ランドを建設した。ここを中心として前後に四日市コンビナート、鈴鹿サーキット、伊勢、鳥羽さらに生駒、奈良、京都を結ぶ二泊三日、または三泊四日のルートが新しい修学旅行コースになろう。

賢島　あご湾の複雑なリアス式海岸線に抱かれ、高台からは真珠の海が一望でき、奥志摩観光の中心地。空も海も澄みわたり、すばらしい景観が特色。賢島までの特急電車の所要時間は名古屋から二時間十分、奈良から二時間五十六分、京都から三時間七分、大阪（上本町）から二時間三十六分。

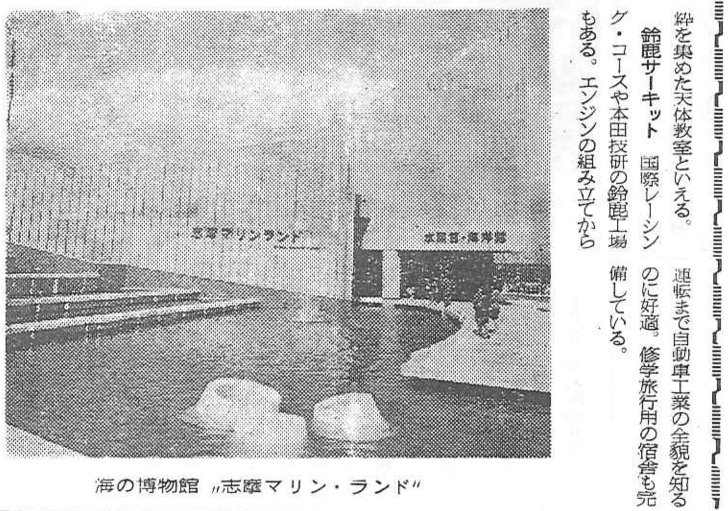
志摩マリン・ランド　海洋館は海の開発を目ざす夢の殿堂。環境室ではオートスライドによる海底景観を示し、三千㍍の深海の生物まで見せてくれる。海底カプセルでは日本および世界各国で行なわれている海洋開発の現況を、また未来の海底室では魚を卵から育てたり、海の牧場風景を取りあげ、食糧源としての利用を具体的に見せる。そのほか海底電子力発電所や海底都市の開発などがあり、夢を未来につなぐ楽しい施設である。

水族館は海底の熱帯魚と無脊椎動物などを大量飼育していて、回遊水槽やタイドプール、マイクロアクワリウムとよばれる新しい生態展示法で公開している。二百尾のコイが放養される人工池をはじめ、潮の干満を人工的に再現するプール、さらに海水熱帯魚、小型近海魚、冷水系魚類水槽のほか、クラゲ、ヒトデ、タイ、イカ、エビ、イソギンチャクなど無脊椎動物槽を集める水槽と、大回遊水槽が呼びものとなっている。



生駒山宇宙科学館　生駒山ケーブル山上駅の南側、二万三千平方㍍の敷地に立っている。展示ホールは五室、百場面あり、太陽系、地球の歴史、惑星、星の世界、銀河系と宇宙、ロケットなどの各室にわかれ、とくにすばらしいのはスペイス・スコープで、直径二十㍍のドーム・スクリーンにうつし出される全天映画と、きらめく星座を眺めながら天体運動の法則を知るプラネタリウム。宇宙科学の粋を集めた天体教室といえる。

鈴鹿サーキット　国際レーシング・コースや本田技研の鈴鹿工場もある。エンジンの組み立てから運転まで自動車工業の全貌を知るのに好適。修学旅行用の宿舎も完備している。



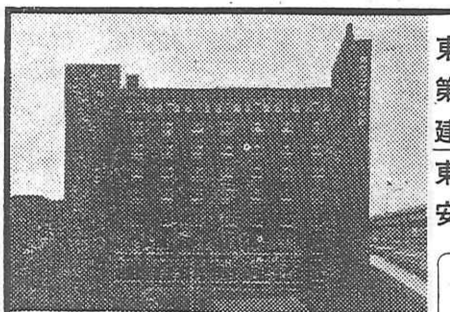
海の博物館〝志摩マリン・ランド〟

若い心を大きく広げる

豪華観光船 ふじ・にほん丸（旅客定員 1,800名 3,000トン）

見ているだけで、心が大きく広がる海——
修学旅行は海になさいませんか。
日本最大の豪華客船　ふじ・にほん丸が、
生涯忘れえぬ修学旅行へご案内いたします。
純白の船体に若い心をのせて……。
●科学技術の粋をあつめた最新鋭船。
●一流ホテルのような豪華な設備、完全エアコン。
●皆さまのスケジュールにあわせて就航。
●学習講議用ＴＶシステムも完備。
●一般乗客との混乗はありません。

●お問い合わせは●
Ⓐ 大島運輸株式会社 東京支店　東京都中央区日本橋通1の6 浅野ビル ☎(03)273—8911



ホテル〈全館和室〉
東京都港区六本木1丁目7番地
ＴＥＬ (03)585－1046(代表)

東京コマ旅行会館は
第８回優秀防火建築表彰で
建設大臣賞を受賞いたしました。
東京でのお泊りは
安全設備を誇る当会館へ。

東京タワー、国会議事堂を間近かに望む東京の中心にあり、８階建の近代ビルで、修学旅行の皆様に、より有意義な旅行をしていただくために、清潔で低廉に、しかも最新の設備をほどこした全館和室の観光旅館です。

東京 コマ旅行会館

乗客の"忘れもの"

二割は戻らぬ 現金

国鉄 夏バテの八月が最高

年に一三%の伸長率といえば、高度成長を続ける日本経済のことかと思われるだろうが、これは"忘れもの"の話である。

国鉄の列車内や駅構内、あるいは線路内などで拾得された忘れものは、昭和三十八年度に二百万件の大台を突破していらい昭和四十年度の二百十万件を最高に、毎年二百万件台を続けていたが、昨年度は七年ぶりに百万台に下降している。しかし、通貨のほうは岩戸景気をしのぐ好景気を反映して昭和四十一年度五億円、四十二年度五億九千万円、四十三年度六億九千万円、昨年度は七億九千万円と毎年一億円ていど、伸び率一三%から一八%と、まさにウナギのぼりに増加している。

車内の網棚が一位

拾得されたものを場所別にみると、品物は列車内が六六%、駅構内が三三%、その他一%。通貨は列車内が五四%、駅構内が四五%その他一%で、列車内の忘れものが過半数を占めているので、下車の際はもう一度持ち物をたしかめること。

具体的な場所別では列車内は網棚が五五%、座席が三三%、そのほか帽子掛、通路などが一二%となっている。駅構内ではホーム三二%、出札口一三%、改札口一三%、コンコース一二%、待合室九%、便所、洗面所、案内所などで二一%となっている。

品目別では全点数二九〇万点のうちトップは衣類の四十四万点一五%で、次いでかさ類の三十七万点一三%、装身具類（めがね、帽子など）の二十四万点九%、書籍文房具類の二十三万点八%、食品類の二十万点七%の順となっており、この五品目が毎年上位を占めている。なお高価品に属する時計は二万点、写真機は一万八千点、貴金属類は七千点もあった。

火曜は忘れ物デー

一週間のうちで一番忘れものの多い曜日は火曜の一九%で、次いで金曜、日曜の一五%、水曜の一四%、土曜、月曜の一三%、木曜一一%の順。

いままでは日曜をはさんで前後の日、土曜に多かったが、最近は前記の通りで、週間中、平均化する傾向がみられる。

次に時間帯でみると、七時から九時の出勤時が一番多く、十七時から十九時の退社時が二番目で朝夕のラッシュ時に集中しており、次いで九時から十三時、十九時から二十四時、十三時から十七時、零時から七時の順で減少する。

おとし主の職業別では会社員の五五%がトップ、学生の一九%が二番目、次いで主婦の九%、公務員の六%、商業の五%、農業の一%などとなっている。

年齢別では二十一歳から三十歳の二九%が最高、十一歳まで二十歳の二三%がこれに次ぎ、以下三十一歳から四十歳の二〇%、四十一歳から五十歳の一五%、五十一歳から六十歳の一〇%、六十一歳以上三%の順となっている。

性別では男性が七二%、女性は二八%という割合い。つまり二十代のモーレツサラリーマンが圧倒的に多い。忘れものの原因は、不注意によるものが七四%で最高、"あわてたため"が一三%、落矢が一〇%、飲酒のためが一%、そのほか二%の順で、飲酒者の忘れものが意外に少ないのは面白い現象である。

第二位占める七月

昭和四十四年度の東京、上野、名古屋および大阪の四駅の月別取扱件数をみると八月が第一位、七月が第二位、夏の二ヵ月間で年間の約二割を占めることになる。これは暑さのためと海へ山へとレジャーを楽しみ、エネルギーを消耗しつくし、しかも軽装となるためと考えられる。第三位は三月で以下四月、六月、五月、十月、九月、一月、十一月、二月の順で減少し、十二月は最下位となっている。

忘れものが落し主の手にかえる率は現金と品物とはかなり違っている。現金は七億九千万円のうち一週間の国鉄保管中に六億円が落し主にかえり、警察に引き継いでから引き渡した金額を含めると七八%が無事に戻っているが残りの二二%は猫ババされている勘定だ。品物では時計、カメラ、貴金属類は比較的よく落し主にかえっているが、そのほかの品物はあまり戻らない。

東京駅では"一と雨かさ五百本"といわれている。持ち物には名前を書いておくと、かえってくる割合も多く、すぐ発見できなくても後日、取集駅で発見される例が多いといわれるので、あきらめずに問い合わせることが必要だ。

国鉄の車両など施設内で職員が拾ったり、客から届け出のあった忘れものは、その駅で四日から五日間保管され、その後は職員の拾ったものと乗客の拾ったものを分けて地方の鉄道管理局指定の取集駅へ送る。取集駅では拾得した日から七日以内に警察へ渡し、六か月の保管期間がすぎると国鉄の所有となる。

（国鉄広報部提供）

摩周湖は澄む

摩周湖—旅ごころをそそられる美しい名前だ。林芙美子も「空想した湖よりも神々しかった」と書いているが、これは水が澄んでいるためであろう。国内の湖がしだいに汚れ、透明度が低くなっている現在、この摩周湖だけは相変わらず澄み切り、夏の北海道の大きな魅力となっている。深さではわが国で第五位、貧栄養のため透明度が高い。アイヌ語で「カムイ・ト（魔神の湖）」というが、その語の通り見るものの身をひきしめる。

修学旅行のポイント

圧巻は薬師寺西塔の模型

奈良歴史教室

奈良・大和路は日本のふるさととして、修学旅行では重要なポイントであるが、その全貌をつかむことはなかなか容易でない。このほど完成した近鉄奈良駅ビル四、五階の"奈良歴史教室"は、同地方の縄文・弥生文化から大和朝廷への発展、さらに花咲く天平時代と、めまぐるしい政治、文化の歩みを再現する。

展示場のおもなものは地図による奈良県の今昔、あきらかにされた古墳の内部とその出土品、いま話題の飛鳥遺跡、藤原・平城の都や天平時代の奈良、そのほか歌舞伝説、四季、年中行事など豊富にそろえているが、圧巻なのはモザイク・スクリーンによる大仏造立と十分の一に復元された薬師寺西塔であろう。現場へ行っても見学できない内部の木組みも細部にわたって再現している。

また、同寺の十二神将（模造）も回転式になっていて、古文化財をしみじみと理解させてくれる。そのほかいろいろな仏像の姿やその素材、作り方など克明に解説している。

奈良近鉄ビル四、五階。平日午前十時から午後六時まで。日、祝日は午前十時三十分から午後六時三十分まで。月曜日休み。入場料は二十五名以上の団体で高校生一人五十円、小中学生一人三十円。

＝写真は薬師寺西塔の復原模型。初層 部の格 天井（ごうてんじょう）・支輪および裳階（もこし）の屋根裏には法相華文様（ほうそうげもんよう）が描かれている＝

万葉史蹟めぐり ㉜

倉無の浜

古社にとどめる風情

堀田　勇

素朴雄健と評されている万葉集のことであるから、修辞上の工夫などさして考えられはしなかったろうと想像されるが、事実はかならずしもそうでない。特に序詞の工夫は各種各様にわたっていて、内容や音韻に関連した多彩な言葉の遊びは、万葉人の豊潤な感情・たくましい神経をうかがわせるものがある。考えようによっては、それは強じんな生命力に結びつく問題とさえいえそうである。

次にあげる作品など、そうした万葉振修辞をうかがうに格好な例といえよう。

○……

吾妹子（わぎもこ）が赤裳ひづちて植えし田を刈りておさめぬ倉無の浜

は、「倉無の浜はすばらしいなあ」というだけの作品であるがその倉無の浜の「倉」の修飾・引出しのために「愛する彼女が赤い着物の裾を水にひたして植えた田園の、刈り取ったイネを収めて置く「倉」と、長々と四句までを序詞にしている。作者の工夫は、華やいだ田植風景を巧みにうつし出して倉の背景にし、写実と画想との組み合せからくる幻想によって倉無の浜の佳景を浮かび上がらせようとしたことである。

私達は、終始言葉のあやによって引きずられながら、その幻術のとりこになってしまったわけである。

この作品には「あるはいふ柿本朝臣人麻呂の作れる」の左註がついている。人麻呂の作品の持つ豊麗な状景・大胆な技法が目につくのもそのためであろうか。ともあれ、この作品は、万葉集中の異色作の一つということができよう。

○……

倉無の浜は、山国川の川口の荒涼とした浜で中津市にはいっている。今日では竜王浜とも三百間浜とも呼ばれている寂しい漁港である。河岸も干拓された田圃も高いコンクリートの堤防で囲まれているので、「吾妹子が赤裳ひづちて植えし田」のなまめかしい情趣を思い描くことは到底出来そうもない。

港の近く、町はずれに、崇神天皇のころの創設と伝えられている式内社倉無浜神社がある。広い境内にはまばらに巨松がそびえ、漁師が網をひろげてつくろっている。古昔の倉無の浜の風情をしのぶよすがは、むしろこの古社に残っているというべきであろうか。

○……

中津市の東郊の田園和間部落の海岸は、万葉集にいう分間（わくま）の浦とされている。天平八年（七三六）遣新羅使の一行が、周防灘で暴風にあったのち、ようやくここまでたどりついて数日を過したというところである。

吾妹子がいかに思へかぬば玉の一夜もおちず夢にし見ゆるひさかたの天照る月は見つれども吾が思う妹に逢はぬころかも

は、その折の偶作であるが、彼等は、素純に家にある妻をしのび慕っている。「毎晩々々妻の夢を見る」も「月は美しく照っているが妻とはずい分久しく逢わないなあ」も、哀しい心の叫びだったのであろう。

和間の海岸も厚いコンクリートの壁に囲まれ、干拓工事も着々と進んでいるようであるが、閑寂な一帯の風情には古昔の名残をとどめているようである。

倉無の浜にも和尚部落にも、中津駅前からバスの便がある。

（随筆家・写真も）

＝写真は倉無浜神社境内からの眺望＝

宿泊記念に植樹

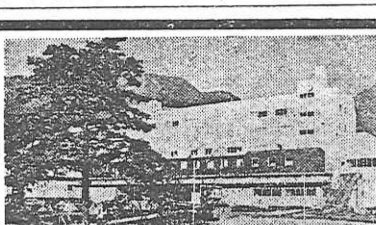
サツキの花がいっぱい

箱根後楽園

○…箱根後楽園（神奈川県箱根町仙石原・佐藤正夫支配人）では昨年の春から宿泊の修学旅行生による記念植樹をはじめたが、これが意外に反響を呼び、話題となっている。樹はサツキの苗木でロッジ前の約千六百五十平方㍍の庭園に学校の名札とともに植えられているが、開花期になると後楽園ではカラー写真にとり、それぞれの学校に送っている。翌年、同園を訪れる生徒たちは先輩の植えたサツキが立派に咲いているのを感慨深げに眺めるという。

○…植樹をはじめてから一年、すでに七十校が植樹しているが、この分だと全庭が修旅生によるサツキでいっぱいになるのも間近いので早くも敷地内に候補地をきめている。同園は定員三百五十名のため全館貸切りとして利用されることが多く、生徒の統率にも好都合。夜はアイス・スケート・リンクでフォーク・ダンスやバレー、卓球などリクリエーションで賑やかな風景をみせている。

＝写真は植樹する修旅生（同園で）



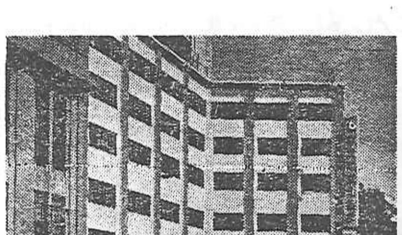
九州・別府への
修学旅行に……

客室77／収容人員1200／学習用資料展示の学術館／バス80台・乗用車 200台駐車可能／遊戯施設など完備

＜鶴見園レジャー・センター併設＞

鶴見園
観光ホテル

別府市南立石2152—1
電話 0977（3）3221
大阪案内所 大阪市旭区赤川町1—69
電話 06（922）2002
東京案内所 東京都千代田区神田鍛冶町3—6
電話 03（256）4606



修学旅行のご宿泊に……

■東京随一の環境・素晴しい展望
■交通至便・羽田から25分
■玄関前にバス15台の駐車場
■安全第一の諸設備完備
■清潔な調理場と快適な大食堂
■浄化装置の大小浴場

財団法人　修養団経営
東京青年文化会館
東京都渋谷区千駄谷4—25
電話（403）5111（代表）